

# 慈眼

## 第10号

発行所  
小城市三日月町  
仁俣2554 妙蓮寺内  
TEL・FAX  
0952-72-5805  
日蓮宗佐賀  
教化センター  
発行責任者  
辻 智 彰  
印刷所 中野印刷所

### 『一心』

佐賀県修法師会々長

芦刈町妙長寺住職

加藤 智 顕



筑紫平野の南端、有明海を臨む芦刈町には十二の寺院が有りますが、日蓮宗の寺は小生の自坊、寿永山妙長寺ただ一ヶ寺だけです。この寺は先々代、祖父日勇上人が、大正十四年春に「法華経」広宣流布のため三日月町より当地へ移転しました。

小生も先師に負けぬ様、布教に励んでおります。その第一として昭和四十九年に日蓮宗大荒行堂に第初行として入行し、初めて宗門の修法道に身を置きました。これまで師父上人や大先輩上人達の色々な御祈禱、

祈願を見聞しておりましたが、上の空と申しますか、何か信じる事が出来ず、不安と迷いの言葉の信仰の時が多かった様にも思えます。しかし、百日間の修行を体験し、生きるとは何か、生きる重み、いのちの尊さという事を改めて考える事が出来ました。その時、その時は一生懸命でありますから、御本尊・大聖人と一体となって成仏出来る様精進します。しかし、これを継続していく事は言うは易しですが、実行となれば大変な事です。大聖人の三大誓願を受け継ぎ、社会の平和と人類の幸福に貢献しなければなりません。それには、先ず一人一人を法華経の教えに導いて、幸せや希望を持たせる事が、一番身近に出来る事と思えます。

例えば、小生の寺に於ても、家族が病になった時、必ず「お父さんお経を唱えて」とせがみます。勿論本人がその気になった時が最適ですから、家族としてではなく、一信者として法華経を読誦・祈念を致し、家族もその都度一生懸命お題目を唱えます。何年も経った今日此頃、「あの時お父さんから御祈念をしてもらったから良かった」と年頃になった子供達が申します。「身・口・意の三業にてお題目を信じ・唱える者は、

必ず何事も成就する」と大聖人は私達、末法の弟子に深く説かれています。

本宗の布教には、修法布教の他、言説布教、法要儀式及び各種の社会事業等がありますが、全て、釈尊がお教えになられた最高の法華経に導く為に、大聖人が、末代日本国が平和になり、一人一人が苦しみから逃れ幸せになる様に教導下さいました。

しかし、信仰生活の中において修行を続ける事は、並大抵の事ではありません。私達、修法師はその中に於て、色々な面で迷っている人達に真の法華経を少しでも理解していただき、無信仰の方や他宗の方は勿論、本宗の方でもただ単に檀家という事だけでなく、法華経を信じる事が出来る真の信者になられる様に指導するという使命感を持ってまいります。

「祈禱」は、「祈」は希なり、「禱」は到なりで、希望を到達する事であり、我々人間が何らかの願いや望み等を成就せしむる所に「祈禱」というものが存在します。

宗門の「祈禱」は本門事の一念三千、十界常住の妙法の感応無窮の御利益のしからしむる所であります。「祈禱鈔」の一節に「行者は必ず不実なりとも、智慧はおろかなりとも、身は不浄なりとも、戒徳は備へずとも、南無妙法蓮華経と申さば必ず守護し給べし。」というお言葉があります。

どうか檀信徒の皆様、来る立教開宗七百五十年、そして二十一世紀へ向かって、個々の家庭の平和と、世界平和の為に、お題目を唱えようではありませんか。

## お題目総弘通運動 「唐津大会」

と き 平成10年10月3日(土) 午前10時開会

と ころ 唐津市民会館

第1部 護法の祈り 第2部 講演(松尾山 光勝寺 田中日学貫首)  
第3部 清興(佐賀にわか) 筑紫美主子一座

参加御希望の方は菩提寺にお申し込み下さい。



立教開宗七百五十年  
慶讃シンボルマーク

### 信行Q&A

今回は、信行を勤めるにあたってのいくつかの質問に答えて参りたいと思います。

#### Q 合掌の意味は何ですか。

A 合掌とは、インド人の挨拶の仕方が仏教にとり入れられたものです。

右ほとけ

左衆生と

合わす手の

内ぞゆかしき

南無のひと声

これは合掌について古人が詠んだものです。右手は悟りの世界である仏さまを、左手は迷いの世界、つまり私達人間を表わしていると言われ、合掌する事は仏様と一体となる事を表わしています。

まず合掌は仏様に向かって行います。それは当然「仏さまを尊敬いたします」という事を表わしておりますが、同時に仏教では「すべての人間に仏様と同じ心、仏性が備わっている。人間だけではなくこの世のありとあらゆるものに仏性が備わっている」と教えておりますから、人間同士はもとより、この世の生きとし生けるもの全ての仏性に合掌し礼拝し合うのです。

また合掌をする場合、往々にして指先が揃わなかったり、ふくらんだりしがちですが、意識をしながら奇麗な合掌が出来ます様心掛けて頂きたいものです。



#### Q 数珠の由来を教えてください。

A 一定の数の珠に穴をあけ、これを糸でつないで輪にしたものである事から、数を記す珠と云う意味で「数珠」と呼ばれています。数珠は誦珠とか念珠などとも書き、「おもいのたま」「ずず」などとも呼ばれています。読んで字の如く念ずる珠であり、お題目を唱えるときやお経をあげるときに、ともすればグラグラとゆれ動きがちな精神を集中し、仏さまの世界を念じ、一心にお題目を唱える者により多くの功德を与える法具であります。

数珠は、宗旨宗派により様々の違いがあります。「木樵子経」と言う数珠について説かれた經典に「もし、心の迷いや悩みを除こうと欲せば、百八個の珠を連ねて数珠を作り、これを常に身につけたらずさえて、南無仏・南無法・南無僧と念ずれば、心安らぎ悟りの世界に導かれん。」とある様に、珠の数は元来、百八個が基本となっています。この百八と云う数は私達の心の悩み、煩惱を示す数でもあります。

しかし、宗派によって違いがあり、一重のものは半分の五十四個の珠で作られている数珠もあります。

日蓮宗の数珠は百八個を基準に両方にある二個の親玉と、四個の色（もしくは大きさ）の違う玉が入っています。この四個は法華經に説かれる四菩薩（上行菩薩・無辺行菩薩・浄行菩薩・安立行菩薩）を意味しています。

宗派によって数珠の種類が違う以上、日蓮宗の檀信徒の皆さんは日蓮宗の数珠を持つ様、心がけなければいけません。

花と葬儀

木下株式会社  
平安閣冠婚葬祭互助会



# 草苑

(SOU-EN)

北 佐賀草苑 佐賀市兵庫町藤ノ木1115 (0952) **30-4040**

南 佐賀草苑本庄 佐賀市本庄町大字本庄951 (0952) **25-1255**

## 佐賀の老舗

辻の堂の仏だんや

# (株)本庄仏具総本店

佐賀市堀川町(辻の堂) ● TEL 0952・23-2955(代)



数珠は材質にも様々な種類があります。水晶、菩提樹の実、象牙、梅の木、珊瑚、白檀など、身近なものから高価なものまで色々です。しかし、どれが良いと云う訳ではありません。日常生活に於て肌身離さずあなたかも身体の一部であるかの様にたずさえ、活かさなければ本当の価値はありません。そしてその価値は仏さまと、仏さまに向き合うあなたにしか分からないものです。

また数珠の持ち方としては、お題目をお唱えする際は、右に房が二本、左に三本くる様にし、綾にして、左右中指の第一関節にかけ、手を合わせます。

Q 灯明と線香について教えてください。

A 仏壇にローソクをともすのは、単に明るく照らすという意味ではありません。ローソクの火は灯明といい、知恵の徳を

表わしているのです。

明りが闇を開く様に仏様の知恵が迷いの闇を開く事を願うことなのです。ローソクに火をともしたら、その火で線香に火をつけます。

日蓮宗では、線香の数は三本あげるのが正式となっております。この三本という由来は、仏・法・僧を表すものという説と、御本尊様、御先祖、自分自身のため、という説とがあります。なお、時折二本上げられる方がおられますが、これは間違いです。また、三本ではなく一本上げる場合もあります。例えば、お通夜など、他の会葬者の方が多い場合などは、一本で構いません。いずれにしろ、今自分が香をあげる方に対して、深く祈ることが大切です。



Q お供物のあげ方はどうすればよいのですか。

A 毎日のお供えは、ご飯とお茶、お水を仏壇に差し上げれば結構です。

祥月命日（亡くなられた月のご命日）

や年忌法要には果物や菓子、故人の好きだった食べ物をお供えすれば良いでしょう。その際に注意して頂きたいのは、肉や魚など生臭いもの、またニンニクやネギなど、においの強いものは避ける様にして下さい。

戴きものがあつた場合は、まず仏壇にお供えし、それから家族が食べるといふ昔からの習慣も忘れずに受け継いで参りたいものです。

お盆や年忌法要の時には霊供膳（霊膳）をお供えしますが、この霊供膳には、手前に箸、左に飯椀、右に汁椀、奥の左に平椀（煮もの）右に壺（あえもの）中央に腰高坏（香のもの）の順に並べ、一汁三菜の精進料理を盛りつけ、仏前の方に箸が向くようにお供えします。



本尊側

創業明治22年

旅館

あけぼの

佐賀市中ノ小路3-10 ☎(0952)24-8181



- 寺院用具一式
- 前卓
- 鋳金物
- 宮殿
- 修復
- 須弥壇
- 仏壇
- 人天蓋
- 美術彫刻品
- 障子
- 幟
- 宗教絵画
- 神殿用具
- 襖
- 塗物
- 其の他
- 仏像彫刻
- 箔

手を合わせるころを大切に・・・

山本仏具

佐賀市呉服元町 10-12 23-4308  
〒840-0824 ☎(0952)

# 寺院紹介 (十)

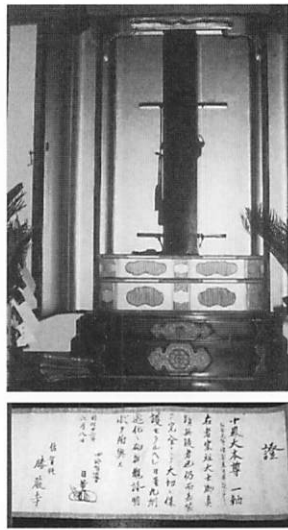
## 《仙道山 勝嚴寺》

小城郡三日月町樋口六三七

住職 大野義敬

勝嚴寺は三日月町五条バス停留所より徒歩で約五分の所、遠くに天山を望む田園地帯に位置しています。現在の地名は江利と呼ばれていますが、昔は瀬道佐(せどうさ)という別名も有ったようですが、この地名は勝嚴寺の山号仙道山(せんどうさん)から来ていると言われております。

### 【歴史】



日蓮大聖人御真筆本尊

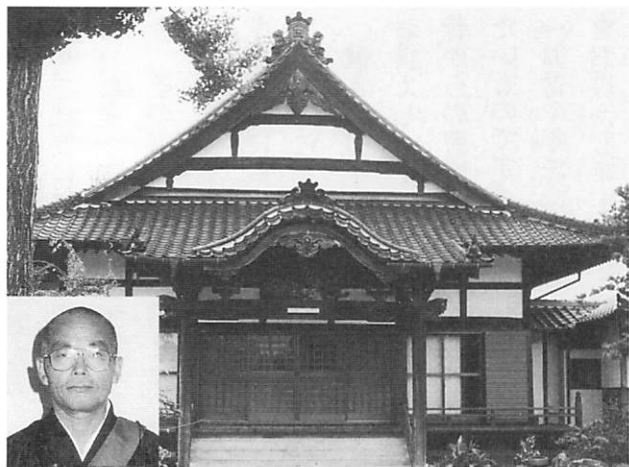
日蓮上人鑑定書

大永元年(一一二二)日能上人に依って開山されました。以来約五〇〇年に渡り法華経の道場として譲り継がれています。現在の本堂は昭和十二年に先代・三十六世龍宣院日弘上人の代に改築されました。又、善神堂並びに庫裡は平成六年

十一月、住職大野義敬上人の発願により改築が行われ寺観を一新しました。本堂には仏祖三宝が勧請され、その右手には立派なお厨子の中に日蓮大聖人の御真筆と伝えられる大曼茶羅御本尊が格護され、又左手には身丈三尺程の鬼子母神が勧請されております。本堂手前右手には新しく改築された善神堂が有り、その中には最上位経王大善神、三十番神、清正公大神祇並びに毘沙門天が勧請され人々の信仰を集めています。

### 【寺宝】

三十五世大竜院日禱上人の代、上人の信者より、自宅の蔵の中に、何か尊いものがあるとの霊示を受け、蔵の中を調べてみると大曼茶羅御本尊が見つかりましたので、個人の家でお祀りをするには、もったいないので、お寺でお祀りをして頂きたいとの申し出がありました。そこで、日禱上人は早速、信者の家を訪れ、大曼茶羅御本尊を拝観すると「弘安元年四月二十一日優婆塞日専に授与す」としたためて有りました。これを見た日禱上人は、日蓮大聖人が御自ら書かれた御本尊に間違いのないと思われ、勝嚴寺に持ち帰り大切に格護されました。



大野義敬住職

勝嚴寺本堂

明治三十三年に二代目の立正大学の学長でありました、小林日薫上人が佐賀に下向の御、この大曼茶羅を拝観され、日蓮大聖人の御真筆に間違いのないとお墨付きを与えられました。この鑑定書は今でも大曼茶羅と共に大切に保管されております。これ以来「勝嚴寺のごしちさん」として広く檀信徒の信仰を集めるようになり、この頃から十一月十二日の鎮西本山松尾山光勝寺の御会式御逮夜法要には、勝嚴寺で御会式法要が行われた後、近郊の檀家の方が大曼茶羅を大勢で格護した御厨子を担いで登山し、本堂御宝前で、お参りされた檀信徒の読経唱題の中に御開帳が行われます。



仏壇・仏具・寺院用具・寺院納骨堂設計施工  
拜む心で尊い品を

## 梅谷佛具店

TEL 092-271-0456

本店 〒812 福岡市博多区下川端町10-9  
-0027 (地下鉄中洲川端駅下車)

フリーダイヤル 0120-39-0456

支店 〒819 福岡市西区周船寺3-9-4  
-0373

TEL 092-806-7499

通産大臣認可 7産第2930号



## 株式会社 冠婚葬祭こころの会

三日月町大字久米2084-1 ☎72-3177・FAX72-3633

こころの会指定店

### 総合葬祭

### 有限会社

# 黄城

小城市270 ☎73-3938・FAX72-3633